



AR技術を使ったVFX広告

- 本社所在地：東京都港区
- 事業概要：O2Oマーケティングサービス、デジタルサイネージ、広告事業、サイト開発
- 常時使用する従業員：87名
(グループ全体・2026年3月時点)
- 現在の売上高：22億円
(グループ全体・2025年4月期)
- 法人番号：9011101073446
- Web：https://generosity.co.jp/

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役/CEO
西垣 雄太

TREASURE EVERY MOMENT

当社はこれまで、広告・クリエイティブ領域において企業やブランドの価値を社会に伝える活動を通じて成長してきました。GENEROSITY (寛大さ) という社名が示すとおり、人や企業、社会が互いに敬意を持って関わることで価値が循環し、新たな創造が生まれる関係性を大切にしています。AIの進展により多くの産業が大きな転換期を迎える中で、当社はリアルな現場やクリエイティブといった人の創造性が価値を生み出す領域を基盤としながら、テクノロジーと組み合わせることで新たな価値を生み出す企業を目指しています。100億企業への成長を通じて、顧客のマーケティング活動の高度化に貢献するとともに、日本と海外のクリエイティブが交わり価値が循環する新たな創造の場を広げていきます。また、社員一人一人が専門性を高め、挑戦し続けられる環境を整えることで、クリエイティブ産業の持続的な発展と社会への価値創出に貢献してまいります。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2032年の売上高達成に向け、年率25%程度の成長を目指す。

課題

- 広告制作を中心とする従来型ビジネスは受託型モデルであるがゆえに、人員稼働に売上が依存しやすく、生産性向上や持続的な成長を実現しにくいという構造的課題
- AIによる制作工程の自動化や広告主企業の内製化の進展による広告制作会社に求められる役割の変化
- これらの環境変化を踏まえた従来型の受託制作モデルからの脱却と、テクノロジー・IPを組み合わせた新たな事業モデルへの転換

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- IPライセンス事業への参入
広告制作やPRの知見を活かし、特定領域に特化したIP事業を拡大することによる、従来の単発案件型ビジネスから継続収益型ビジネスへの転換
- AI活用型パーティカルSaaSの開発
制作現場やブランドマーケティングの実務データを活用した、業界特化型のAI活用型パーティカルSaaSの開発・提供
- 海外展開の強化
海外のメディアやブランドとの連携を通じた、日本と海外のクリエイティブIPが相互に影響し合う形でのグローバル市場への展開

実施体制

- CEO・CTO・CFOによる経営チームが、事業開発・テクノロジー・コーポレートの三機能を明確に分担する推進体制 (CEO：事業戦略及びアライアンスの主導し、新規事業・IP事業の拡大を担当/CTO：AI・ソフトウェア開発を統括し、パーティカルSaaSの開発及びデータ基盤の整備を担当/CFO：資本政策、IR、管理体制の整備を通じて持続的な成長基盤構築を担当)
- 外部の専門家やアドバイザーと連携した新規事業の立ち上げやグローバル連携を推進する体制
- 既存事業と新規事業の役割を明確化した事業ポートフォリオ管理

※本宣言は企業自身はその責任において売上高100億円を目指して、自社の取組を進める旨を宣言するものです

当社グループについて

当社は、2025年7月に映像制作会社である株式会社MMTの全株式を取得しグループ化いたしました。

当社は「TREASURE EVERY MOMENT」をビジョンに掲げ、リアルとバーチャルの境界を越えて体験を設計することで、人とブランドのあいだに誰も見たことのない体験を生み出すブランドエクスペリエンススタジオです。国内大手企業や海外のハイブランドのリアルイベント、各種クリエイティブデザイン、デジタルコンテンツの開発等を多数手がけ、幅広い制作をサポートしています。

一方、MMTは、国内外の人気アーティスト、企業、ブランドのイベント及びCM映像などの制作を数多く担当するほか、ライブ配信事業やIP事業も展開しています。定評のあるリアルタイムレンダリング技術の活用をはじめ、メタバース空間やバーチャルイベントにおけるXRコンテンツの制作にも進出するなどリアルとバーチャルの境界を越えた新たな表現の最適化を追求してきました。

当社の強みであるCGIなどリアルとバーチャルを融合したプロモーション力と、MMTが得意とするバーチャルイベントやメタバースでのXRコンテンツを結合し、2032年の売上高100億円の達成を目指してまいります。

